

在宅緩和ケア協力推進研修事業について

【事業目的】 地域におけるがんの在宅療養患者のサポート体制の拡充を目的とした在宅緩和ケアの資質向上及び実践的研修会、事例検討を通じ、地域在宅緩和ケアネットワークの構築を図る。

【実施期間】 平成25年度、平成26年度

【委託先】 日本医科大学千葉北総病院、さんむ医療センター
 （緩和ケアの提供体制が整備されている病院及び
 がん診療連携拠点病院未整備圏域の協力病院等に委託）

【予算】 各1,000千円（国庫1／2）

【事業実績】

	①研修計画の策定等	②実践的な研修		③その他資する事業	
H 2 5 年度	日本医科大学千葉北総病院	【回数】6回 【参加者】延べ26人 【参加職種】 医師、看護師、MSW、事務職	【回数】1回 【参加者】53人 【参加職種】医師、看護師、薬剤師、栄養士、社会福祉士、介護支援専門員、事務職等	【内容】 ケアカフェを取入れ、地域の緩和ケアをテーマにディスカッションを実施。	研修会を足がかりに、今後の研修計画を策定する。
	さんむ医療センター	【回数】3回 【参加者】延べ11人 【参加職種】医師、看護師 事務職	【回数】1回 【参加者】45人 【参加職種】医師、歯科医師 看護師、薬剤師、介護支援専門員、介護福祉士、事務職等	【内容】 緩和ケアフォローアップ研修	研修参加者の名簿作成による地域緩和ケア提供者の把握。
H 2 6 年度	日本医科大学千葉北総病院	【回数】4回 【参加者】延べ40人 【参加職種】医師、看護師、MSW 事務職	【回数】3回 【参加者】延べ69人 【参加職種】医師、看護師、薬剤師、栄養士、社会福祉士、介護支援専門員、事務職等	【内容】 印旛ケアカフェと称したワールドカフェ形式のグループワークを実施。 各会のテーマは、食べる、入浴、睡眠	顔の見える関係が2年をかけ構築されたため、現場レベルでの連携強化や研修会等を今後検討するための情報交換等を実施。
	さんむ医療センター	【回数】4回 【参加者】延べ17人 【参加職種】医師、看護師、MSW 事務職、保健所職員	【回数】3回 【参加者】延べ155人 【参加職種】医師、歯科医師 看護師、薬剤師、介護支援専門員、介護福祉士、事務職等、行政	【内容】 ・死が近づいた時のスピリチュアルケアの実践 ・患者さんの怒りをどう考えるか ・アドバンス・ケア・プランニング～おわりのはじまり～	さんむ地域在宅緩和ケアネットワーク運営事業との連携をとり行政と協働した事業を実施。

【事業終了後の状況】

事業の成果として得られた地域のネットワーク等を踏まえ、各圏域に新たながん診療の拠点（地域がん診療連携拠点病院〔日本医科大学千葉北総病院〕、地域がん診療病院〔さんむ医療センター〕）が整備された。